

取組名称	パンダから広がる竹循環と里山・里海再生プロジェクト			団体設立後の経過年数	47年
応募取組主体名称	株式会社アワーズ（アドベンチャーワールド）	活動地域	和歌山県	応募取組の活動年数	31年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

アドベンチャーワールドは31年にわたり中国を除き世界一のパンダ繁殖実績を持ち、白浜生まれの個体が中国で新たな命を育むなど種の保存に貢献。パンダの主食である竹を切り出すことは山の荒廃抑止につながり、食べ残しを活用する「パンダバンブープロジェクト」を展開。①種の保存②広域連携（岸和田市・白浜町）③竹林整備④竹利活用（アート・プロダクト・魚礁）⑤啓発・教育活動を通じ、地域と次世代を巻き込む循環共生モデルを拡張。

実績の要旨

- ①【種の保存】白浜でパンダ17頭が生まれ育ち、中国でも20頭以上の子孫誕生し、IUCNレッドリスト改善に寄与。②【広域連携】観光振興や地域経済に貢献、岸和田市・白浜町と連携し循環共生圏を推進。③【竹林整備】竹伐採で放置竹林を再生、広葉樹化を進めフクロウ営巣を確認。④【利活用】食べ残し竹を魚礁化し4年連続でアオリイカ産卵、竹5,000本アートで環境啓発。⑤【教育・普及】市民・次世代と共に、環境課題解決を考える場を創出。

和歌山県 の 地 域 振 興 に 関 する 取 組 の 実 績	環境への貢献	竹伐採で放置竹林を整備し、京都大学フィールド科学研究センター瀬戸臨海実験所と共同で、食べ残し竹を魚礁として活用。里山と里海双方の生物多様性回復に寄与し、竹アートやプロダクト化で廃棄削減と脱炭素も実現する循環モデル
	社会・経済への貢献	パンダ繁殖研究は和歌山・白浜への来訪者を増やし観光と地域経済に貢献。竹資源活用は地域産業と連携した循環ビジネスや雇用につながり、アートや教育活動を通じて社会的価値を広げている
	地域資源の活用	放置竹林を餌や魚礁・製品へ循環利用し、地域の自然資源を環境保全と社会参加の力に変えている
	普及・汎用性	竹循環は全国で応用可能。4年連続孵化や竹アートも、規模を変え各地の普及啓発や自然環境の再生に生かせる
	革新・ユニーク性	パンダ繁殖実績を基盤に、竹という地域資源を用いて里山・里海・人を循環で結ぶ独自の仕組みを構築
	継続性	各自自治体との協定や大学連携に基づき、竹循環を魚礁・アート・教育へ広げ、収益と参加で持続する仕組みを構築

展望の要旨

エデュテインメント（エデュケーション×エンターテインメント）性を強化したパーク運営を通じ、楽しさだけでなく「いのちを問い、豊かに生きるヒント」を得る体験を提供。人々の内面の成長や意識変容を促しそれが環境保全・回復の原動力となる。竹循環を基盤に、30by30達成にも資する共生社会を発信していく